



4月23日～5月12日は 「こどもの読書週間」です。

子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)に誕生しました。

もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、2000年より、今の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)からになりました。

子どもたちが読書を通じて豊かな人間性を育むために、この機会にたくさんのすてきな本と出会えますよう、ぜひ、図書室にお越しください。

こども読書週間のイベント

本を借りた方に、しおりやシールなどの
プレゼントをお渡しします。

※プレゼントがなくなり次第終了します。

【実施期間】 4月23日(水)～5月11日(日)

【対 象】 小学生までのお子さん

(図書利用カードお持ちの方)



お知らせ 蔵書点検のため

4月15日(火)～18日(金)
休室します

利用者の皆様にはご迷惑をおかけ
しますが、ご理解と、ご協力をお願い
いたします。

「蔵書点検」ってなに？

登録してある所蔵データと
所蔵資料が一致しているか確
認する作業のことをいいます。

正しい場所に収まっている
か、行方不明のものがいないか点
検します。

おすすめ本の紹介

特集 やなせたかし



3月末からはじまるNHK連続テレビ小説の『あんぱん』は、“アンパンマン”を生み出した漫画家・やなせたかしさんと妻の暢（のぶ）さん夫婦がモデルとなっています。図書室に所蔵のやなせたかしさんに関連する図書を紹介します。

『オイドル絵っせい 続』

やなせ たかし/著 フレーベル館/出版



「人生の晩年を楽しく」という思いをこめた「オイドル＝老い＋アイドル」

アンパンマンの生みの親・やなせたかしが高知新聞連載に綴ったエッセイ100編をイラストとともに収録。

『やなせたかしと小松暢の人生』

メディアソフト (MS ムック)/出版



心優しいみんなの味方「アンパンマン」を生み出し、漫画家、デザイナー、詩人、美術監督とマルチな分野で活躍したやなせたかし。その生き様と、彼を生涯支え続けた妻・小松暢の生涯を、豊富なビジュアルとともに紹介する。

『やさしいライオン』

やなせ たかし/作・絵 フレーベル館/出版



孤児のライオンとお母さん代わりの犬。人間の都合で引き離されてしまったふたりの運命やいかに。

悲しくも温かな途切れることのない親子の愛情を描いた絵本。

『やなせたかし』

「アンパンマン」誕生までの物語 ちくま評伝シリーズ

筑摩書房編集部/著



たくさんの別れと戦争と自分探しの旅を乗り越えて、アンパンマンが生まれるまでの、やなせたかしの人生を辿る。

巻末エッセイも収録。